

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(石油:<http://mylibrary.maeda1.jp/oil.html>)

マイライブラリー:0448

(注)本稿は2018年8月3日から10日まで6回に分けて「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

首位を固めるシェル:五大国際石油企業2018年4-6月期決算速報

2018.8.19

前田 高行

目次	頁
1. 五社の1-3月期業績比較	2
2. 2017年第2四半期以降の四半期別業績の推移	5

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の4-6月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益(総合及び上流部門、下流部門)、売上高利益率、設備投資および石油・天然ガス合計生産量について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の四半期決算の推移を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<https://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-4-billion-second-quarter-2018>

Shell:

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2018/second-quarter-2018-results-announcement.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/media/press-releases/second-quarter-2018-results.html>

Total:

<https://www.total.com/en/media/news/press-releases/second-quarter-and-first-half-2018-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-second-quarter-net-income-of-3-4-billion>

なお前期(2018年1-3月期)及び2009年から2017年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

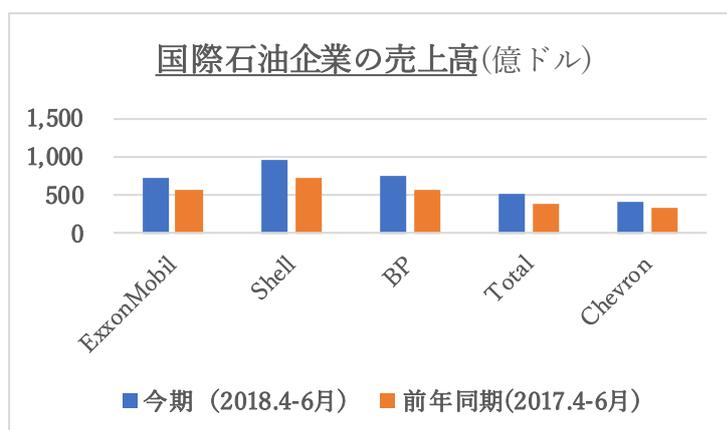
<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>

1. 五社の4-6月期業績比較 (末尾表 1-D-4-22 参照)

五社を横並びで前年同期と比較すると売上高、総合利益及び天然ガス生産量では Shell がトップである。しかし設備投資、原油生産量および原油と天然ガスを合計した生産量の各部門では ExxonMobil が、上流及び下流両部門の部門別利益では BP、売上高利益率は Chevron がトップである。今期は各社とも売上及び利益が大きく伸びている。原油生産量では ExxonMobil がずば抜けて大きく、天然ガス生産量では Shell が他の4社をしのぎ最も多い。

(売り上げは各社とも前年同期比で3割前後の増収！)

(1) 売上高

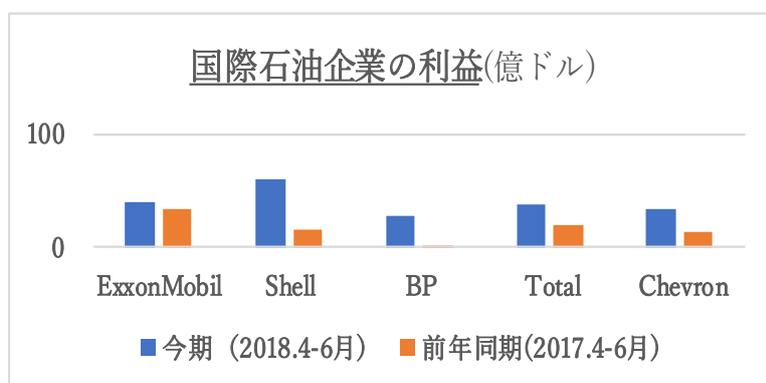


2018年4-6月の売上高は5社ともに前年同期に比べ3割前後の増収である。各社の原油・天然ガス生産量は ExxonMobil 及び Shell は前年同期を下回り、BP 及び Chevron も微増に終わっている(本稿下記参照)。従って売り上げの上昇は原油天然ガスの価格がアップしたためと考えられる。因みに Shell の決算資料で見ると、昨年第2四半

期はバレル当たり平均45.62ドルであったものが、今期は66.09ドルに上昇している。2011年あるいは2012年のピーク時には年間平均価格が100ドルを超えたが、昨年第2四半期は4割、今期は6割まで戻っている。原油価格の上昇がそのまま各社の売上高の増加に反映されたと言えよう。

各社の売上高および対前年同期の増加幅は、ExxonMobil が735億ドル(27%増)、Shell968億ドル(34%増)、BP 754億ドル(34%増)、Total 525億ドル(32%増)、Chevron 422億ドル(23%増)であった。

(2) 総合利益 (図: <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-52.pdf> 参照)

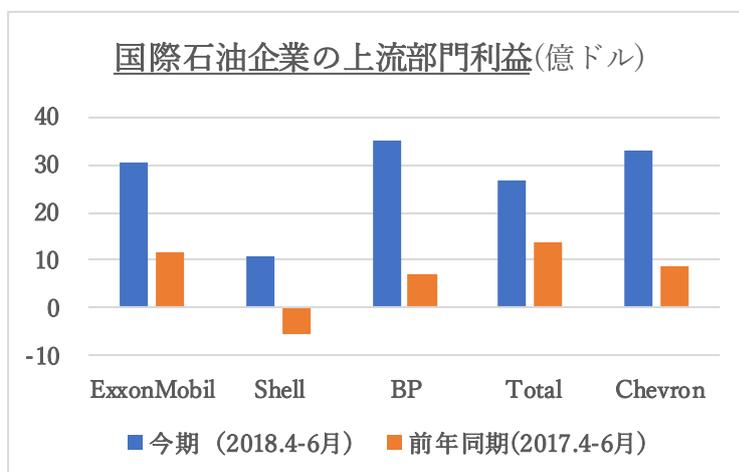


今期は5社ともに前年同期を上回る利益を計上しており、特に Shell 及び BP の利益の伸びが目覚ましい。利益額が5社の中で最も大きいのは Shell の60億ドルであり前年同期(15億ドル)の4倍である。Shell に次いで利益が多いのは ExxonMobil の40億ドル及び Total の37億ドルで

あり、両社の利益は前年に比べそれぞれ18%増及び83%増である。Chevron は34億ドルであり

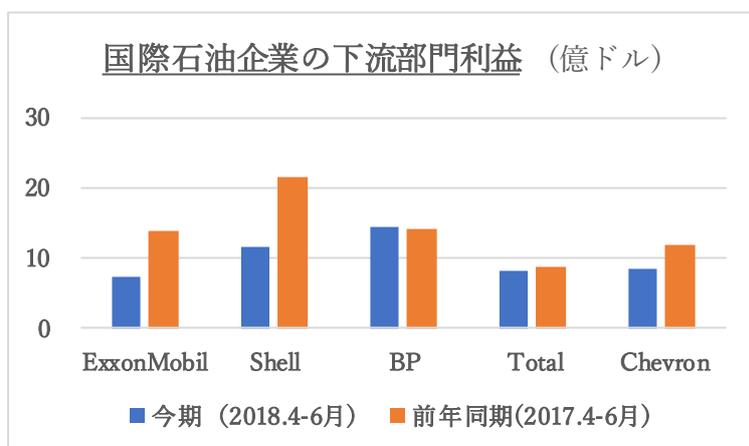
前年同期15億ドルの2.4倍である。BPの4-6月利益は5社の中では最も少ない28億ドルであるが、わずか1億ドル強にすぎなかった前年同期に比べ大幅に改善している。

(3) 上流部門と下流部門の利益



利益を上流部門(石油・天然ガスの開発生産分野)と下流部門(石油精製および製品販売分野)に分けて比較すると、まず上流部門ではBP(35億ドル)、Chevron(33億ドル)、ExxonMobil(30億ドル)の3社が30億ドル台の利益を計上して並んでいる。またTotalもこれら各社に引けを取らない27億ドルの利益を計上している。5社の中

で上流部門の利益が最も少ないのはShellであり、同社の利益は11億ドルにとどまっている。但し、同社は前年同期に5社の中で唯一上流部門が赤字であったが今期はプラスに転じている。その他の4社もBPが5倍、Chevronは4倍、ExxonMobilは2.5倍、Total2倍と全社で上流部門の利益が大幅に向上している。

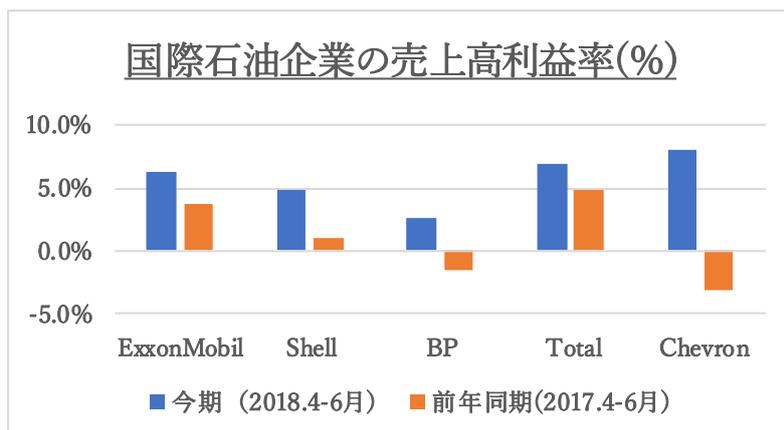


下流部門の利益が最も高かったのはBPの15億ドルで、これに次ぐのがShellの12億ドルである。その他の3社はいずれも8億ドル前後である。各社を前年同期と比べると、BPが微増(+3%)だった以外4社は減少しており、特にExxonMobilとShellは半減している。

このように今期は前年同期に比べ各社とも上流部門の利益が下流部門の利益を大幅に上回っている。これは原油天然ガスの価格が大きく上昇したためである。歴史的に見ても五大国際石油企業は2014年に原油価格が100ドルを超えるまで上流部門の利益が下流部門を上回る時代が長く続き、その後一転して原油価格が暴落した2015~17年は下流部門の利益が上流部門を上回っていた。現在原油価格が高値安定しているため上流部門が再び利益の源泉になっているのである。

なお上記(2)総合損益は各社によって石油化学品部門あるいはその他の損益を含むため上・下流部門の利益の合計額とは一致しないケースがある。

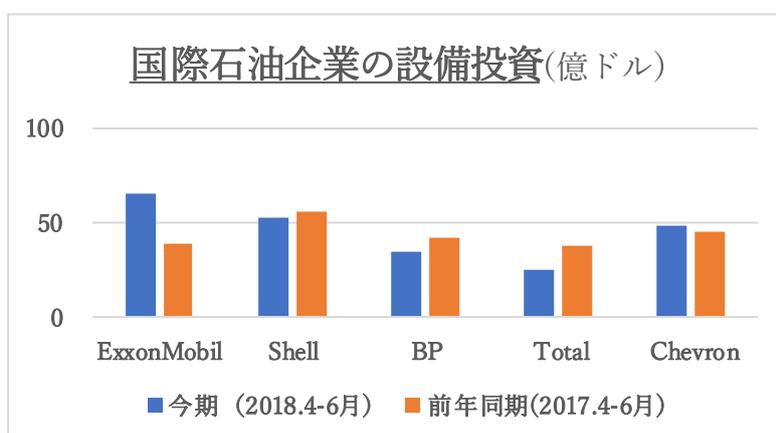
(4) 売上高利益率



売上高利益率は Chevron が8.1%と最も高く、Total 7.1%、Shell 6.2%、ExxonMobil 5.4%と続いている。利益率が最も低い BP は3.7%である。今期は各社とも利益率は一桁台にとどまり、また5社の格差が小さい。前年同期に比べ ExxonMobil の利益率は低下しているが、その他の4社はアッ

プしており特に Chevron、Shell、BP は利益率が大幅にアップしている。

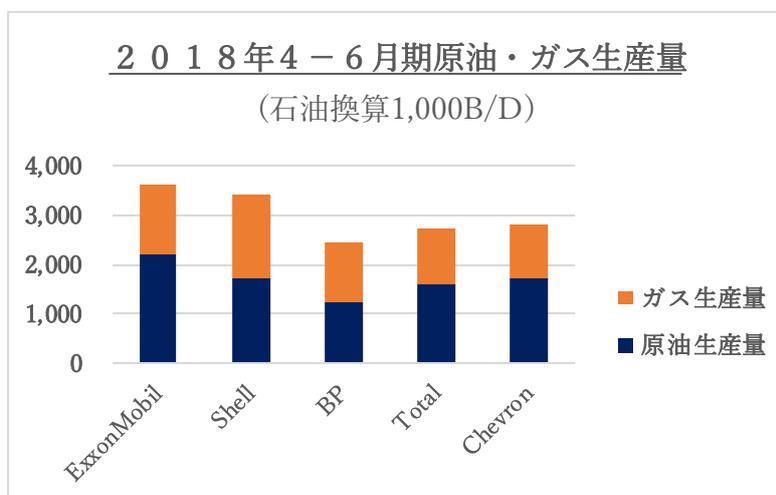
(5) 設備投資



2018年4-6月期の設備投資額が最も多いのは ExxonMobil の66億ドル、これに次ぐのが Shell の53億ドルである。Chevron 及びBPの設備投資額は48億ドル及び35億ドルであり、最も少ない Total は ExxonMobil 或は Shell の半分以下の25億ドルである。ExxonMobil は7割近く増加して

いるが、Chevron は6%の増加にとどまり、その他の3社の設備投資は前年同期を下回っている。

(5) 原油・ガス生産量 (末尾表 1-D-4-22 参照)



今年4-6月の原油生産量は ExxonMobil が平均日産量221万バレル(以下 B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社はいずれも200万 B/D 以下であり、Shell が173万 B/D、Chevron 172万 B/D、Total は158万 B/D、BP は ExxonMobil の6割の122万 B/D で5社の中では最も少ない。ExxonMobil は世界各地で万遍なく原油生

産をおこなっており他社を圧倒している。前年同期と比較すると Total が22%と大幅に増加した以

外、他の4社は2%乃至10%減少している。

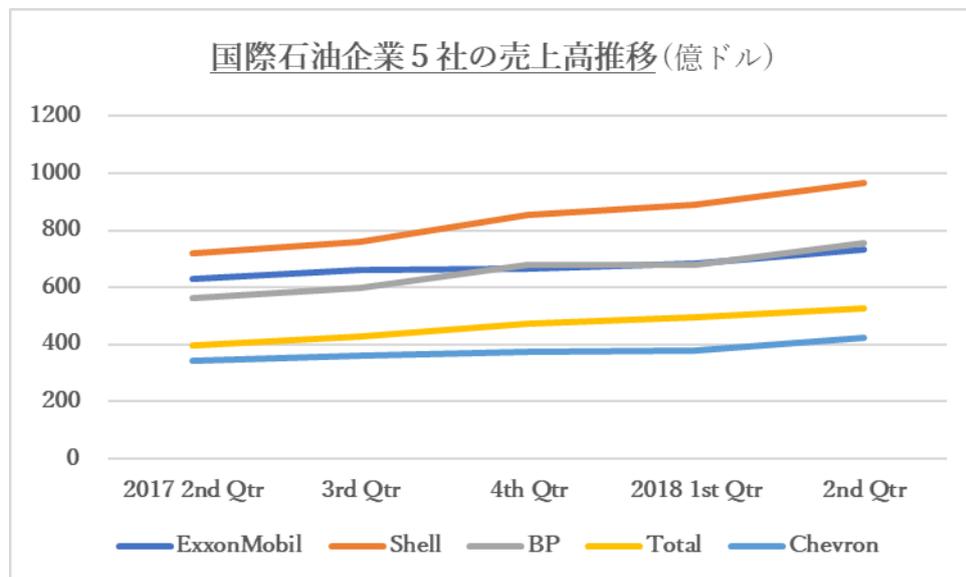
天然ガスの生産量は Shell が99億立方フィート(以下 cfd)と最も多く、ついで ExxonMobil が86億 cfd、BP、Chevron は70億 cfd 前後で、最も少ない Total は62億 cfd であった。前年同期に比べると BP、Chevron 及び Shell はそれぞれ+16%、+7%、+2%と増加したが、ExxonMobil(-13%)、Total(-5%)は減少している。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量では ExxonMobil は365万 B/D でこれに次ぐのが Shell の344万 B/D である。その他の3社は Chevron が283万 B/D、Total は272万 B/D、最も少ない BP は247万 B/D である。石油と天然ガスの比率を見ると、ExxonMobil と Chevron は石油61%、天然ガス39%であり5社の中では石油の比率が最も高い。また Total も石油58%・天然ガス42%と石油の比率が高い。Shell は原油と天然ガスの比率が50%ずつであり、これに対して BP のみは石油49%対天然ガス51%であり、天然ガスがわずかではあるが石油を上回っている。

2. 2017年第2四半期以降の四半期別業績の推移

五社の売上高、利益(全体、上流部門および下流部門)、設備投資、原油・天然ガス生産量に関する2017年4-6月期以降今期までの四半期ごとの業績推移は以下の通りである。

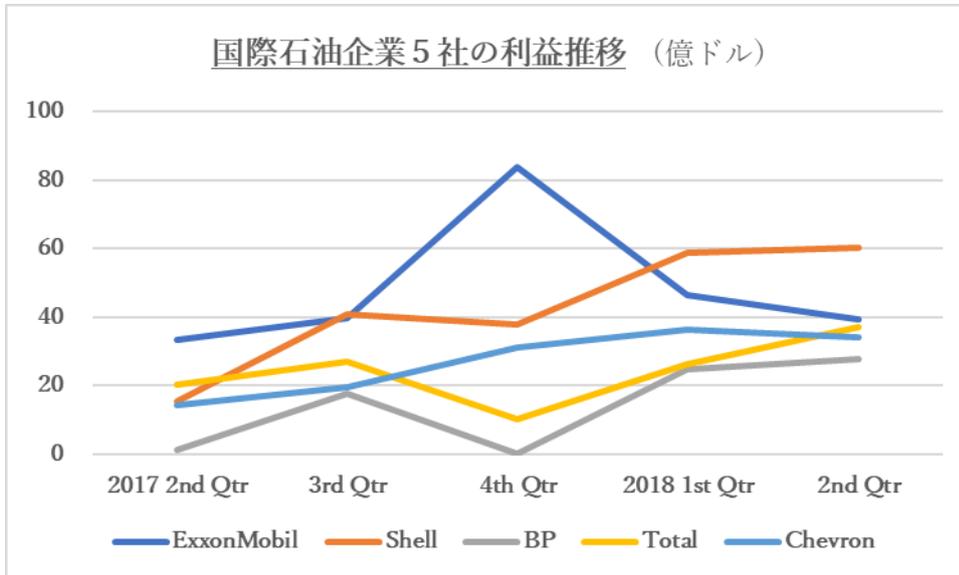
(1) 売上高の推移



2017年第2四半期から2018年第2四半期に至る四半期ベースの売上高は原油価格の上昇を受けて各社とも増収基調にある。5社の中では Shell が721億ドル(17 2nd Qtr)→758億ドル(3rd Qtr)→854億ドル(4th Qtr)→892億ドル('18 1st Qtr)→968億ドル('18 2nd Qtr)と5期連続で売り上げトップを続けており、しかも2位、3位の ExxonMobil 及び BP との格差は拡がり5社の首位を固める気配である。Shell に次ぐのが ExxonMobil でありその売上高は629億ドル(17 2nd Qtr)→662億ドル(3rd Qtr)→665億ドル(4th Qtr)→682億ドル('18 1st Qtr)→735億ドル('18 2nd Qtr)である。また BP の売上高は565億ドル(17 2nd Qtr)→600億ドル(3rd Qtr)→678億ドル(4th Qtr)→682億ドル('18 1st Qtr)→754億ドル('18 2nd Qtr)であり、最近の三四半期は両者の売上はほぼ同額である。

この間の四半期平均原油価格(1バレル当たり)の推移を Shell の決算資料で見ると45.62ドル(17 2nd Qtr)→47.06ドル(3rd Qtr)→55.28ドル(4th Qtr)→60.66ドル('18 1st Qtr) →66.09ドル('18 2nd Qtr)であり、昨年第2四半期以降、原油価格は45%上昇している。

(2)利益の推移



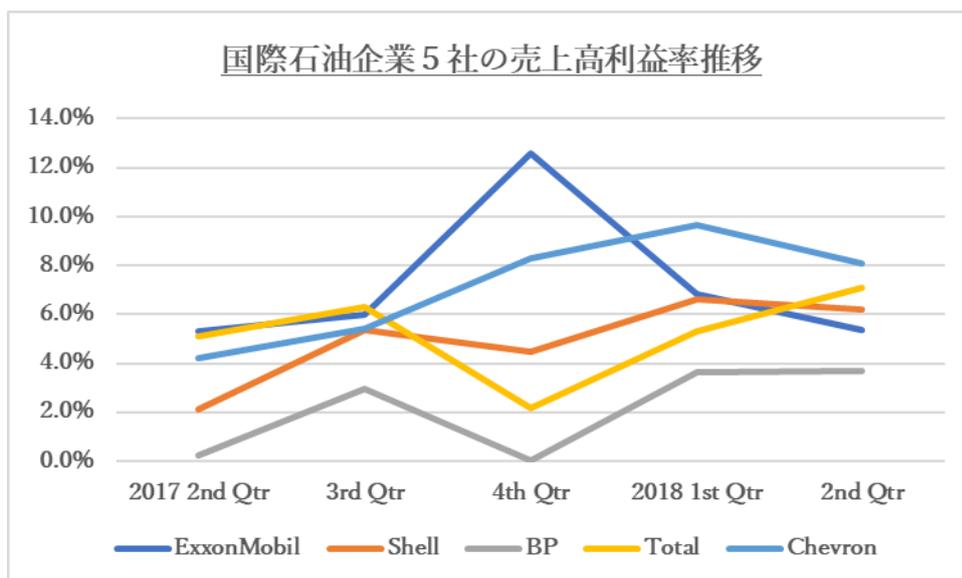
過去1年間の四半期ごとの利益水準は各社によって異なるものの、いずれもプラスであった。5社の中では ExxonMobil は34億ドル(17 2nd Qtr)→40億ドル(3rd Qtr)→84億ドル(4th Qtr)→47億ドル('18 1st Qtr) →40億ドル('18 2nd Qtr)と毎期40億ドル前後の利益を計上、特に17年第4四半期は84億ドルと他社の2倍以上の利益を記録している。Shell は昨年第2四半期は15億ドルの低水準の利益であったが、その後は41億ドル(3rd Qtr)→38億ドル(4th Qtr)→59億ドル('18 1st Qtr) →60億ドル('18 2nd Qtr)とほぼ一貫して上向いており今期は他の4社を引き離す高い利益を計上している。

Total は昨年第2、第3四半期に20億ドル台の利益を計上したが、第4四半期は10億ドルに落ち込んだ。その後再び増益に転じ今期は37億ドルと過去1年間で最も高い利益を出している。Chevron も昨年第2四半期以降4期連続の増益であるが Shell に比べその伸びは低く、今期は34億ドルと5社中の4位にとどまっている。

BP は5社の中で利益水準が最も低い状態が続いている。昨年第2四半期及び第4四半期は収支トントンの状況であった。しかし最近の2四半期は20億ドル台後半の利益を計上している。

(3)売上高利益率の推移

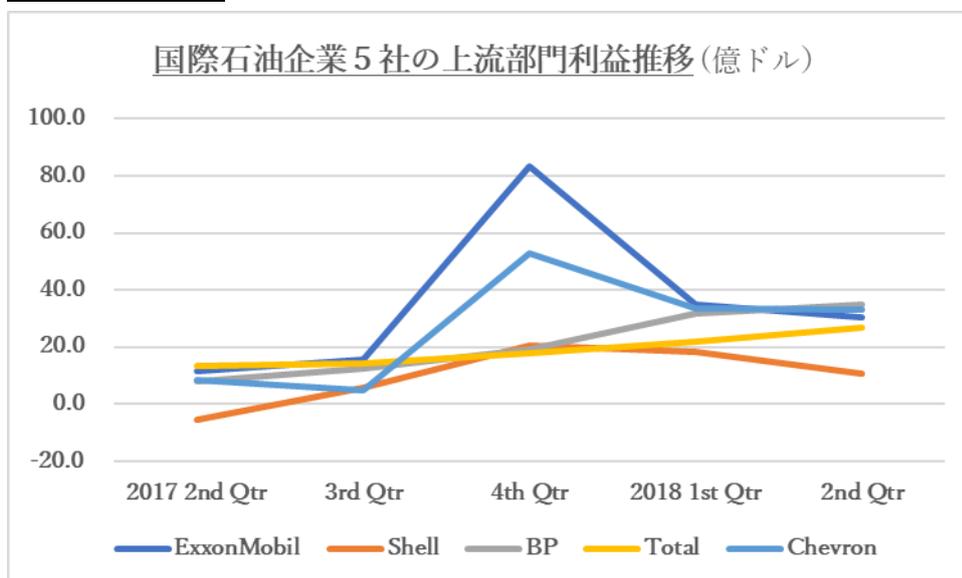
1年前の昨年第2四半期の五社の利益率は ExxonMobil が5.3%と最も高く、Total がわずかに低い5.1%であった。そして Chevron は4.2%、Shell は2.1%であり、BP が最も低い0.3%であった。



続く第3四半期には全社で利益率が向上したが、第4四半期には各社の明暗が分かれ、ExxonMobilは12.6%という高い利益率を示したのに対しTotalは2.2%、BPは0%の利益率にとどまった。今年第1四半期はExxonMobil以外の4社の利益率が向上、Chevronが5社最高の9.6%の利益率を達成した。今期はChevron、Shell及びExxonMobilの利益率は前期より落ちたがChevronが8.1%で5社のトップを維持しており、2期連続で利益率がアップしたTotalが7.1%でこれに続いている。BPは前期よりわずかに改善したものの5社の中では利益率が最も低い状態が続いている。

(4) 部門別利益の推移

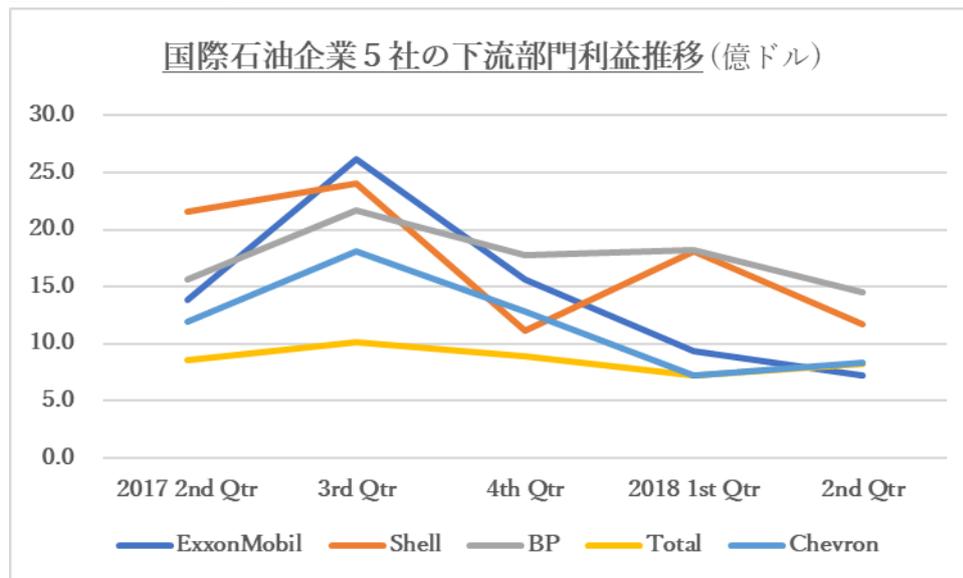
(4-1) 上流部門



前年の2017年第2四半期の各社の上流部門の損益はShellが欠損であったが、その他の4社は利益を計上している。利益が最も多いのはTotalの14億ドルであり、ExxonMobilは12億ドル、ChevronとBPは8億ドル台であった。第3四半期はShellが損失を脱却、5社すべてが利益を計上した。その額はExxonMobilが16億ドル、Total14億ドル、BP12億ドルの3社が10億ドル台の利益を計上、ShellとChevronは5億ドル前後の利益にとどまっている。

第4四半期はExxonMobilとChevronの利益がそれぞれ84億ドル、53億ドルと大幅に伸びた一方、Shell、BP及びTotal3社は横ばいとなり格差が拡大した。前期(2018年第1四半期)はExxonMobil、Chevron及びBPが30億ドル超で並び、またTotalとShellは20億ドル前後であった。今期はTotalの利益が伸びてExxonMobil、BP、Chevronに近付いた一方、Shellは利益が11億ドルにとどまり、他の4社と格差が生まれている。Shellは総売上高及び利益額で4社に水を開けているが(上記売上高及び利益の推移参照)、上流部門は他社に比べ見劣りがする。

(4-2) 下流部門



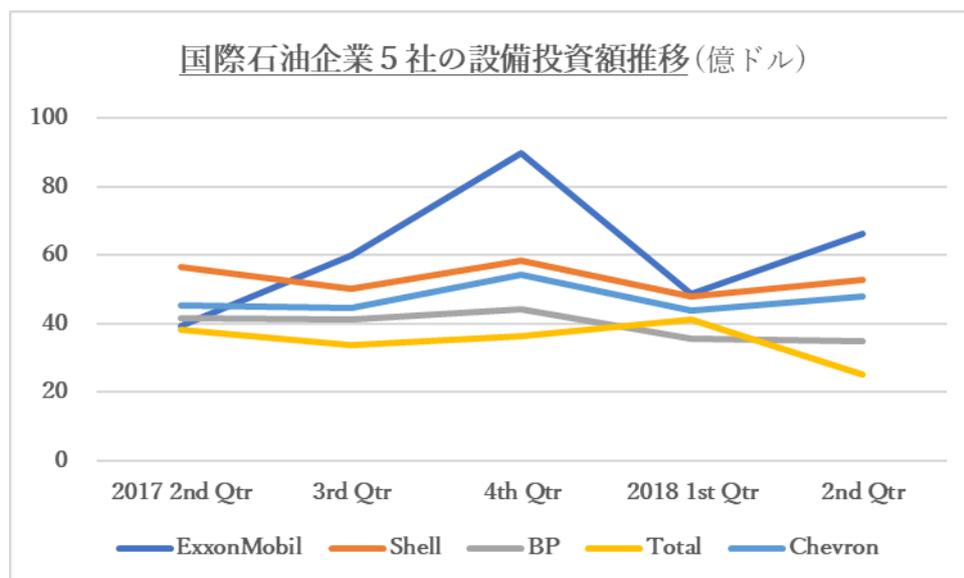
下流部門は2017年第2四半期から今年2017年第2四半期までの5期連続して全社が利益を計上している。2017年第2四半期はShellが22億ドルと他の4社を引き離して最も多く、次いでBPが16億ドル、ExxonMobil 14億ドル、Chevron12億ドルと続き、利益が最も少ないのはTotalの9億ドルであった。続く第3四半期は全社が増益となり特にExxonMobilが前期比倍増の26億ドルの利益を達成、Shell及びBPも20億ドル台の利益を計上している。しかしその後は各社によって波はあるものの、全社とも利益が減少する傾向にあり特に凋落の激しいのがExxonMobilである。今期(2018年第2四半期)はBPが最も多い15億ドルで続いてShellが12億ドル、その他3社は8億ドル前後にとどまっている。

上記上流部門の利益の推移と比較すると上流部門が増益傾向にあるのに対して、下流部門は利益が減少する傾向が見て取れる。ここ数年原油天然ガスの価格が上昇または高止まりしていることが上流部門と下流部門の利益の明暗に表れている。

(5) 設備投資の推移 (図 <http://menadabase.maeda1.jp/2-D-4-64.pdf> 参照)

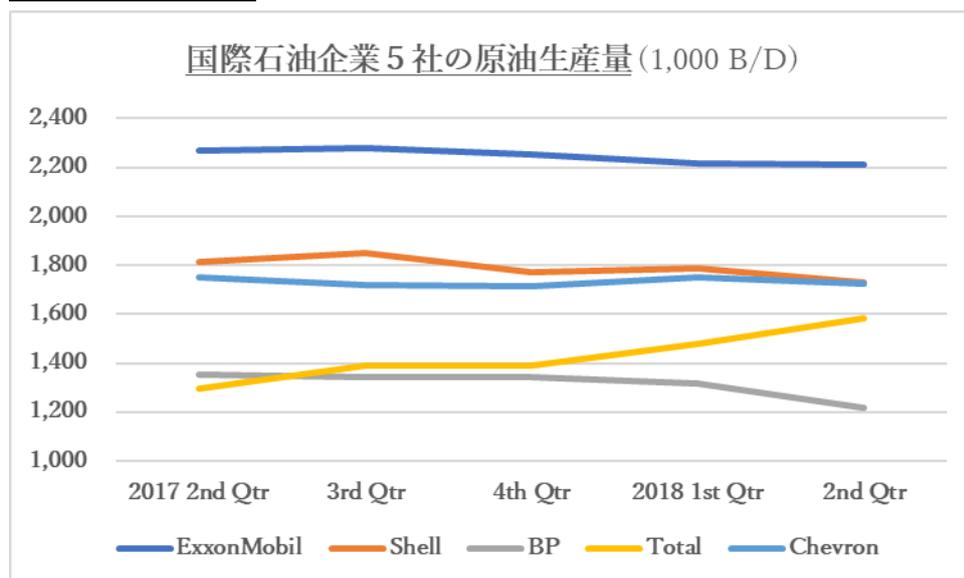
5社の四半期ベースの設備投資額はExxonMobilが昨年第4四半期に90億ドル、今年第2四半期は66億ドルを投資するなど比較的高い投資水準を続けているのに対して他の4社はShellが50億ドル台、ChevronとBPが40億ドル台、Totalは30億ドル台とほぼ同じ水準の投資を続けている。しかも各社とも5期を通じてみると投資額は減少傾向である。この間に原油・ガス価格は上昇または

高止まりし、売上、利益ともに増加しているが、各社とも設備投資に慎重な姿勢を崩していないようである。



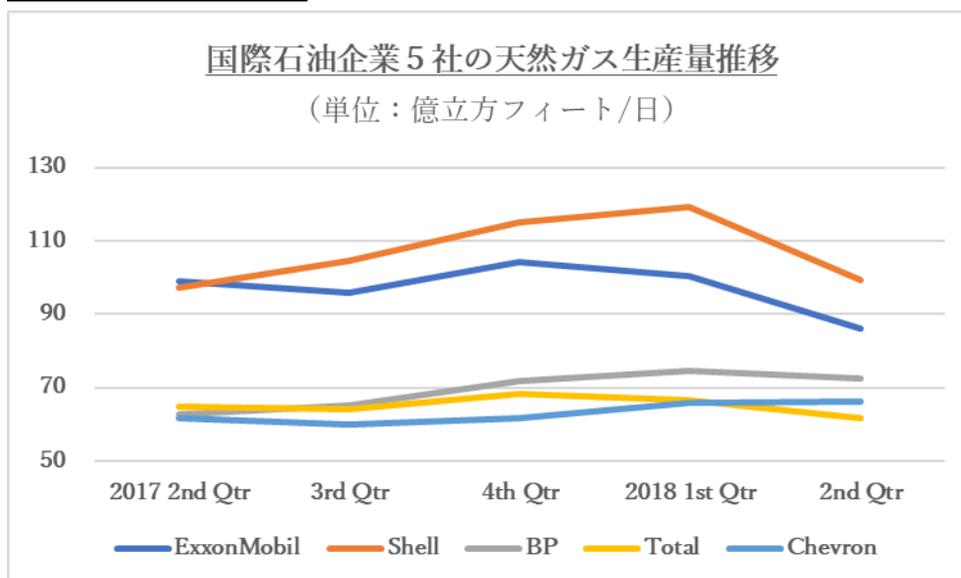
(6)原油・天然ガス生産量の推移

(6-1)原油生産量



過去1年間の四半期ごとの原油生産量の推移を見ると ExxonMobil が他社を引き離して5期連続でトップを守っている。ExxonMobil の生産量は5社の中でただ1社200万 B/D 台を維持している。但し、同社の生産量は年間を通じて漸減傾向にある。ExxonMobil に次ぐ二番手グループは Shell と Chevron で、その生産量は170万 B/D 台であり、最近は両社の間に殆ど差が無い。1年前に5社の中で最も生産量が少なかった Total は、昨年第3四半期に BP を追い抜くと、第4四半期以降大幅に生産量を増加させており、今期は158万 B/D と Shell 及び Chevron との差を大幅に縮めている。一方 BP は昨年第4四半期以降生産量の減少が続いており、今期は122万 B/D にとどまり、Total と 40万 B/D 近い差がある。

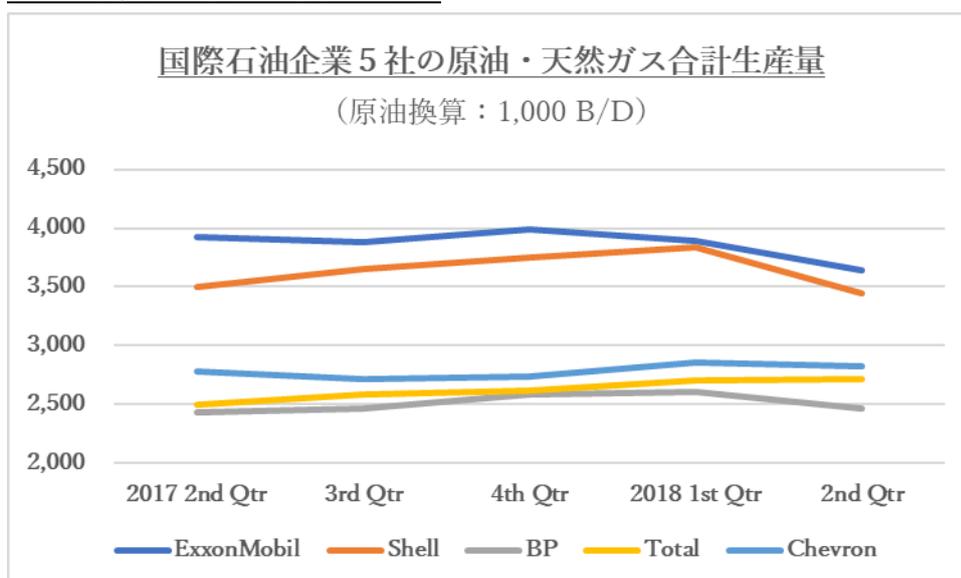
(6-2) 天然ガス生産量



天然ガスの生産量は2017年第1四半期には ExxonMobil と Shell の上位グループと BP、Total、Chevron の下位グループの2極に明確に分かれており、上位2社が日量約100億立方フィートに対し下位3社の生産量は60億立方フィート台にとどまっていた。しかしその後 ExxonMobil は長期低落傾向がとどまらずトップの Shell との格差が広がりつつある。また Shell は今年第1四半期まで4機連続で生産量が増加したものの、第2四半期は急落、1年前の水準に戻っている。

一方下位グループのうち BP 及び Chevron は年間を通じて増加しており、Total の生産量は横ばい状態である。この結果今期(2018年第2四半期)は Shell の生産量が99億立方フィートでトップとなり、続いて ExxonMobil が86億立方フィート、BP72億立方フィートで、Chevron 及び Total が60億立方フィート台で生産量4位、5位となっている。

(6-3) 原油・天然ガス合計生産量



天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量の推移を見るとトップの ExxonMobil は下降気味である。そして Shell は前期(2018年第1四半期)まで増産が続きトップの ExxonMobil を追い

抜く勢いであったが、今期は ExxonMobil 以上に生産量が減少している。一方、Chevron、Total、BP の下位グループのうち BP は年間を通じて横ばい状態であったが、Chevron 及び Total は漸増している。

この結果昨年第2四半期の5社の原油・ガス合計生産量は ExxonMobil392万 B/D、Shell350万 B/D、Chevron278万 B/D、Total250万 B/D 及びBP243万/Dであったが、1年後の今年第2四半期にはそれぞれ365万 B/D、344万 B/D、283万 B/D、272万 B/D、247万 B/Dとなっており、トップ ExxonMobil と最下位 BP の生産量の差は1年前の150万 B/D から今期は120万 B/D まで縮まっている。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2018年4-6月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2018年4-6月	73,501	96,765	75,439	52,540	42,236
	前年同期	58,077	72,131	56,511	39,915	34,480
	増減(%)	26.6%	34.2%	33.5%	31.6%	22.5%
総合損益(百万ドル) (*)	2018年4-6月	3,950	6,024	2,799	3,721	3,409
	前年同期	3,350	1,545	144	2,037	1,450
	増減(%)	17.9%	289.9%	1843.8%	82.7%	135.1%
上流部門損益(百万ドル)(*)	2018年4-6月	3,040	1,094	3,508	2,687	3,295
	前年同期	1,184	▲ 544	710	1,359	853
	増減(%)	156.8%	-301.1%	394.1%	97.7%	286.3%
下流部門損益(百万ドル)(*)	2018年4-6月	724	1,168	1,455	821	838
	前年同期	1,385	2,157	1,413	861	1,195
	増減(%)	-47.7%	-45.9%	3.0%	-4.6%	-29.9%
売上高利益率(%)	2018年4-6月	5.4%	6.2%	3.7%	7.1%	8.1%
	前年同期	5.8%	2.1%	0.3%	5.1%	4.2%
設備投資(百万ドル)	2018年4-6月	6,627	5,275	3,484	2,513	4,816
	前年同期	3,925	5,660	4,181	3,845	4,538
	増減(%)	68.8%	-6.8%	-16.7%	-34.6%	6.1%
原油生産量 (1,000B/D)	2018年4-6月	2,212	1,730	1,217	1,582	1,723
	前年同期	2,269	1,814	1,352	1,298	1,751
	増減(%)	-2.5%	-4.6%	-10.0%	21.9%	-1.6%
ガス生産量(100万 cfd)	2018年4-6月	8,613	9,930	7,242	6,176	6,616
	前年同期	9,920	9,747	6,260	6,500	6,171
	増減(%)	-13.2%	1.9%	15.7%	-5.0%	7.2%
同石油換算 (1,000B/D)	2018年4-6月	1,435	1,712	1,248	1,135	1,103
	前年同期	1,653	1,681	1,079	1,202	1,029
	増減(%)	-13.2%	1.8%	15.7%	-5.6%	7.2%
原油・ガス合計生産量 (石油換算 1,000B/D)	2018年4-6月	3,647	3,442	2,465	2,717	2,826
	前年同期	3,922	3,495	2,431	2,500	2,780
	増減(%)	-7.0%	-1.5%	1.4%	8.7%	1.7%